

# 学部通信第6号

文責：平山 正敏

2学期の学習がスタートして約2か月がたちました。

9月は、体育祭に向けて、リレーや集団行動の練習、仮装の準備に追われる毎日でした。そして、10月15日(日)の本番では、その練習、準備の成果を発揮し、すばらしい体育祭を作り上げることができました。

体育祭が終わると、高等部本科生は、10月末に行われた九州地区聾学校体育・文化連盟福岡大会(陸上競技)、専攻科生は、それぞれが、高等学校美術展やアビリンピック(障害者技能競技大会)全国大会、障害者スポーツ大会鹿児島大会などに向けて、製作や練習に取り組む毎日で、まさに、スポーツの秋、芸術の秋を満喫しました。

今回の号では、セラミックコースの2名の生徒が作り、令和5年度長崎県高等学校美術展(工芸部門)において、最高の賞である優秀賞を獲得した作品と入選した作品を紹介したいと思います。

電動ろくろ成形

装飾加工(彫り)

素焼前

ゆう薬かけ



優秀賞作品 青磁花器「陽」

入選作品 「紅葉Ⅰ」



長期にわたり、繊細な作業に黙々と取り組み、すばらしい作品を生み出すことができました。

ひも作り成形

和紙染絵付け

ゆう薬かけ

本焼

